

明るく元気の出る町

平成7年3月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

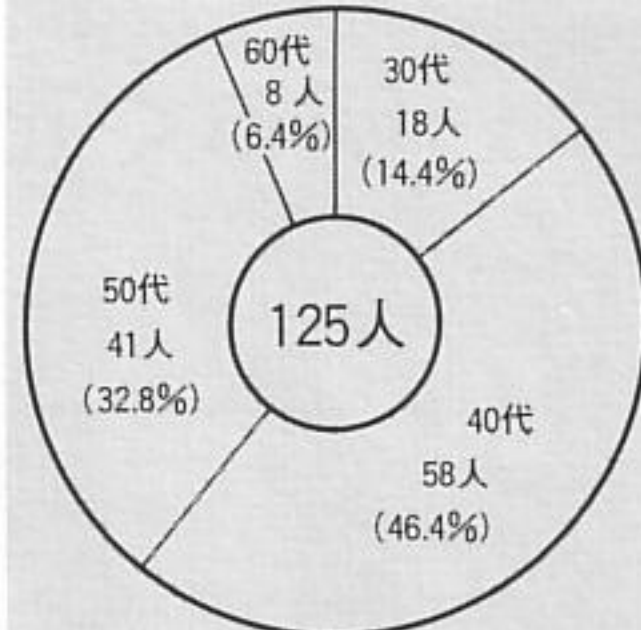
HIGASHIYURI

東由利町
1995 3
NO.480

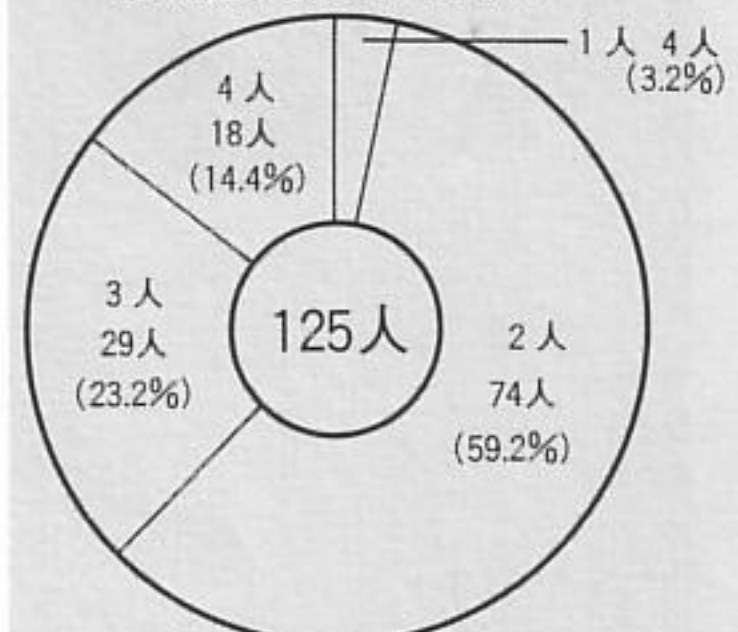


町イメージキャラクター
「モウ太くん」

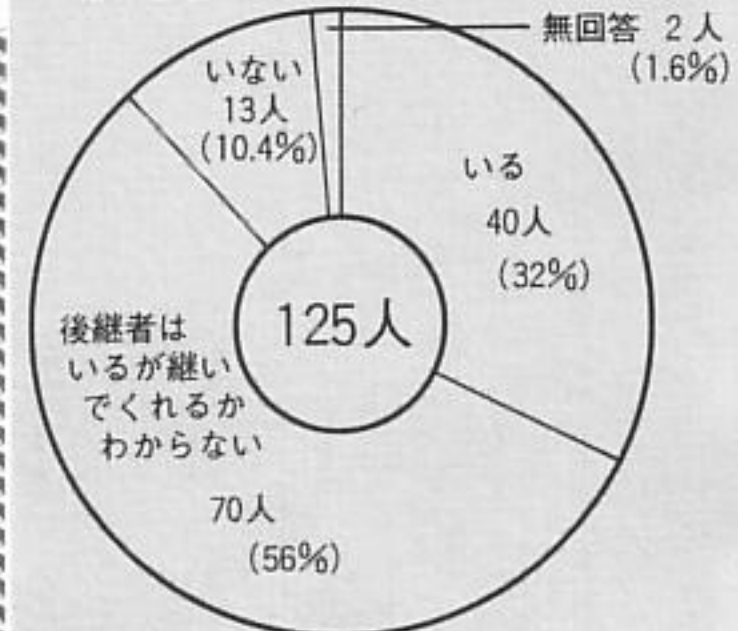
のこった、のこった！足がすべってうまいかないヨ
秋田県選抜雪上相撲東由利大会より



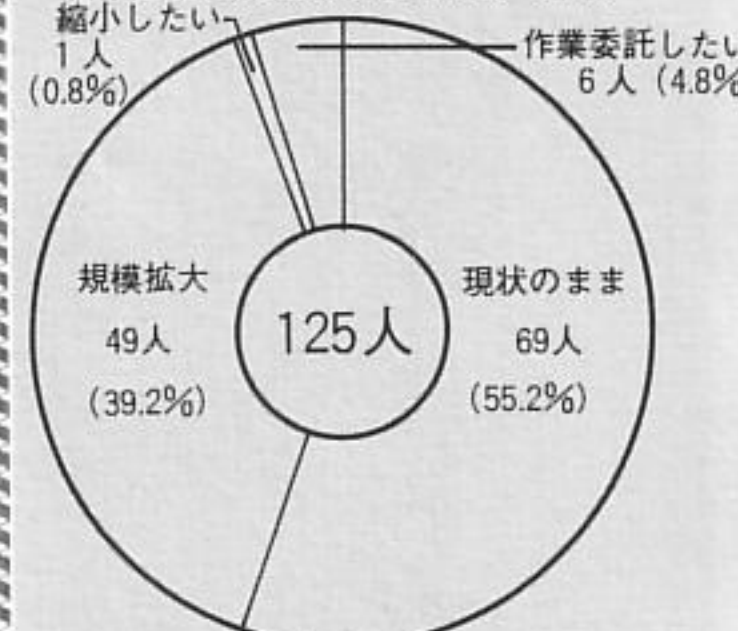
農業従事者は何人ですか



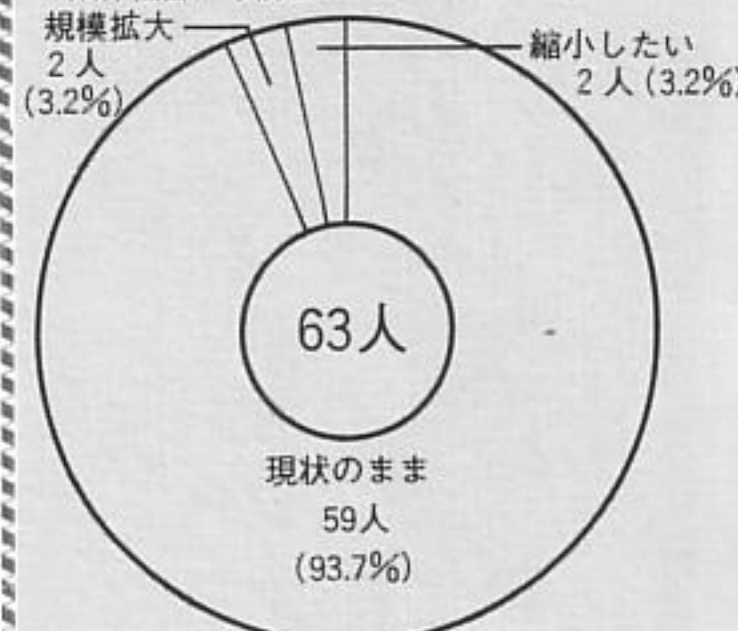
農業を継いでくれる後継者はいますか



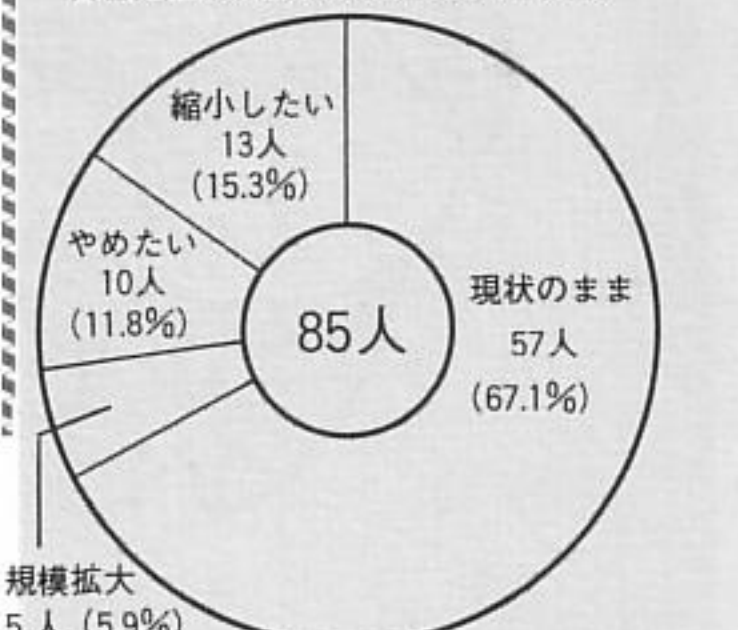
稲作経営は今後どのようにしたいですか



畜産経営は今後どのようにしたいですか



畜産経営は今後どのようにしたいですか (続)



畜産経営は今後どのようにしたいですか (続)



自立専業農家 アンケート

後継者問題が不安 経営規模は現状維持で

平成三年に牛肉の自由化がはじまり、当時七〇％の関税率は五年には五〇％に。また米は七年度から部分的に輸入が始まり、米、畜産とも国際競争の時代となります。

あきたこまちと由利牛の里をスローガンとする本町は、今が正念場。アンケート調査と最近の米、畜産の話題から本町の実態を考えてみましょう

六割と働き盛りの世代が中心となって構成されています。その反面、将来の事となると「後継者がいる」と答えたのは四十人(三二・八％)にとどまっています。

町が昨年十月、町内の自立専業志向農家二百八戸を対象に全体の経営状況、稲作、畑作、畜産の概要を調査した結果、将来的な経営規模を「現状のまま」と半数以上が回答、稲作を除いては「規模拡大」が少数であることが分かりました。また、後継者問題では、「後継者はいるが継いでくれるかわからない」と回答した人が全体の五六％にも及び「いない」の一〇・四％を加

今後の経営方針では、稲作経営の四割が規模拡大を希望、平均で五畝の面積拡大を希望しており、意欲的な農家が多いことがわかります。しかし、畑作、畜産では、規模拡大がごくわずかで、特に畜産では、十人、一一・八％の農家が「やめたい」と答えています。担当の町産業課では「後継者に不安は感じているものの、昔から稲作地帯であることから稲作に対しては意欲的な農家が多い。畜産経営のほとんどが和牛であり、価格の低迷などから「やめたい」農家がでていると考えられる。あきたこまちと由利牛の里をスローガンとしている本町にとって、今が正念場」と話しています。

由利牛の里

稲作、畜産、今が正念場

米と牛が自由化になっても東由利は農業の町

もうすぐ田植え作業がはじまる。「おいしい米」づくりに向け本格的にスタート(写真・葎沢地区、昨年撮影)

あきたこまちと

量よりも質で自由化に対抗

—おいしい米と優良雌牛の確保が鍵—

食味対策に計器導入も

農業振興
対策会議

町農業振興対策会議

(議長・阿部幸悦町長)

が一月三十一日、有鄰館で行われ、平成七年度の農業施策全般で活発な議論が行われました。

同会議は、平成五年

十二月のガット・ウルグアイ・ラウンド農業

交渉妥結を受けて昨年

二月に設置されたもので、今年度は七

月、十二月に会議を行っています。今

回は、「ガット元年」と言われている

来年度の米・転作問題、価格低迷に悩

む畜産対策などを中心に話し合われま

した。

会議では、最初に阿部町長が「国で

はいわゆるガット対策として六兆円の

予算を見込んでいたようだが、今の時

点では、はっきりとした内容が示され

ていない。町農業が生き残るためにど

のような施策を展開すればよいのか、

活発な議論を行いたい」とあいさつ。



▲約30人が出席した農業振興対策会議

農業経営基盤強化促進法に基づく「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」など三計画の内容が報告された後、稲作、畜産などの具体的な内容について議論が交わされました。

稲作では、来年度の転作で新たに導入された指標面積や良質米生産対策

などで意見が出され、「復田を振興し

ながら転作を強化する、まさに「猫の

目行政」にほかならない。来年度は実

質四一鈔余りの転作が示され

ているが、国が示している転

作奨励金への上乗せなどの検

討が必要」、「米の値段は今後、

需要と供給がポイントとなる。

生産者自らの自己規制である

指標面積の実行が将来的によ

い結果になると考えては」、「

「転作奨励金はそのまま農家の

の懐に入るのではなく、耕地

緊急対策で転作が増

7年度水田営農活性化対策

平成七年度水田営農活性化対策の概要がまとまり、昨年と同じ転作等目標面積に指標面積二九鈔が追加され、他用途利用米面積の減少分一一・一鈔とあわせて実質四一・一鈔転作面積が増加することになりました。

国では、平成六年度の

大豊作のため大量の米が

余っている事や六年産自

を維持するための一部でしかないという事を、国、県に訴えるべき」とした現場からの切実な提言が出されました。

また、JA東由利からは、良質米生産対策として食味計導入の考えが出されました。この中でJA東由利では「食味値は数段階に区分され、一般的にAランク（成分分析七〇以上）がうまい米とされている。今後は、収量だけでなくAランクの食味値を確保するために生産技術の向上を図らなければならぬ」と十アール当たり収量のみならず味を重視した施策の展開を強調しました。

主流通米の落札価格の低迷や不落札などから、自主流通米の円滑、適正な流通の確保を図るために緊急対策として、転作面積の追加を発表しました。指標面積と呼ばれる追加分では、需給変動への弾力的な対応や水稻生産力の維持・保全等の観点から、水を張ることににより水田を管理すること（調整水田）も新たに転作として認められることになりました。

町では、配分の方法として①転作面積は目標面積と指標面積の合計から他用途利用米の面積を差し引いた面積を配分対象面積とし、指標面積は内数字として農家に示す②転作率を一七・三％とし、全農家に一律に配分する一などとしており、「自主流通米の価格安定から考えられた施策であり、各農家の協力が不可欠」として、指標面積への取り組みに協力を呼びかけています。



2月子牛市場

1頭平均4万4千円安でスタート

今年最初の子牛市場が二月八、九日

に本荘市の由利家畜市場で行われました。本町からは八日に九五頭の子牛が上場（内八九頭成立）され一頭当たりの平均価格が二九〇、三九一円、十二月に比較して四四、七九二円下がり、関係者の表情も今ひとつさえない初セリとなりました。この内去勢牛は一頭平均三二四、二〇五円、雌牛は二四九、九七八円となり、十二月に比較して去勢牛で六六、〇〇〇円、雌牛で五、〇〇〇円余り下がりました。なお、昨年同期と比較すると去勢牛で二七、〇〇〇円、雌牛で一、〇〇〇円それぞれ

上昇しています。

市場では初セリを前に由利畜産農業協同組合連合会の佐藤昭一会長が「昨年は、価格低迷の一年であった。生産者の努力と畜連が購買者の誘致に全力を尽くしたことなどから十一、十二月は幾分持ち直した。生産者、畜連、購買者が一体となってこの難局を切り抜けよう」とあいさつ。この後、佐藤会長と生産者の代表が鏡開きを行い、市場内での無事故を祈願しました。

優良雌牛保留で10万円

町では、特定の系統から生産された雌牛を町内にとどめようと優良系統牛地域内増殖対策事業を行っています。

対象となる牛は、町内で飼育された繁殖牛から生産される雌子牛のうち父牛または母の父牛が第7系桜、糸晴波、賢晴、晴美、糸光、宮桜で審査委員会の認定を受けた雌子牛です。この牛が町内に保留された場合は、町、JAからそれぞれ五万円ずつ補助されます。

また、JA東由利では岩

手県にある国の家畜改良事業団と提携して、平準化事業にも力を入れていきます。この事業では、町内の雌牛に種雄牛候補牛の精液を受精し、子牛が牡牛の場合は、事業団で買い取り、雌牛の場合は飼育費の一部が交付されます。

町では「本町は繁殖地帯であり、優良雌牛の確保はとても大事なことです。今後、町、JA、農家が一体となって取り組んで行きたい」としています。

認定牛

東由利町優良系統牛
地域内増殖対策事業
東由利町優良雌牛保留審査委員会



▲安値でスタートした子牛市場

善一郎さんが優秀賞受賞

和牛生産集団組織コンクール全国大会

第一回和牛生産集団組織コンクール全国大会が二月三日、京都市下京区で行われ、東北ブロックから出場した前東由利和牛改良組合長の佐々木善一郎さん（大琴）が「改良、増殖部門」で優秀賞を受賞しました。

来までは、全国和牛登録協会が認定した組合だけが参加資格を持っていたが、今回から認定されていない組合や部会など幅広い組織集団を対象にし、名称を変更して行われました。

本町の和牛組合は、県内一の和牛生産地ということもあり県の推薦を受けて東北ブロック大会に出場、福島、宮城、岩手の各県代表とともに全国大会への切符を手にしたものです。

「山間地における由利和牛の里を目指して」と題して発表した佐々木さんは「三五三農家、二九の地区別改良組



▲町からは29人が出席し、交流を深めた

合と町、JAが一丸となつて、育種改良に取り組んでいる。その成果が県内初の年間市場上場千頭達成というすばらしい結果となった」と町全体で畜産に力を入れている事を説明したうえで、「今後は、育種価の安定的向上とともに、増頭奨励対策の充実、優良雌牛の確保、さらに粗飼料基盤の充実を図り畜産農家の所得向上につなげたい」と締めくくりました。

同大会には、町、議会、JA東由利、畜産農家など二十九人が出席し、全国各地の畜産関係者と意見交換を行いました。

武志さんに県農業賞優秀賞



▲県知事から小野さんに賞状が
(写真・右が小野さん)

下次の小野武志さん(二十七歳)が平成六年度秋田県農業賞若い担い手部門優秀賞(県知事賞)を受賞し、二月十三日の秋田県農業士フォーラム(会場・

県正庁)の席上で表彰されました。

同賞は、地域農業の担い手として顕著な実績を挙げている人を表彰するもので、自立專業部門、若い担い手部門、農村活性化部門の三部門があり、農業に意欲的に取り組む自立專業農家の育成確保をねらいに創設されたものです。小野さんは、乳牛七十頭を飼育する專業農家で、高校卒業後に一年間オランダで酪農研修を行い帰国後に農業に取り組みました。ロールベアラー、ラッピングマシンなどの機械をいち早く導入し、粗飼料を無駄なく利用できるようにしたほか、パイプラインミルクカーの導入で牛乳の乳脂率の向上を図っています。また、町の農業近代化セミナー

ル会長として仲間づくりに貢献しているほか、平成四年には、県青年農業士に、同六年には県酪農連盟副委員長に就任するなど地域の若きリーダーとして活躍しています。

受賞にあたり小野さんは「受賞できてうれしい。家族とともに無我夢中で酪農に取り組んできた。これから地域の仲間とともに頑張っていきたい」と話しています。

受精卵移植の成功率70%

優良雌牛の卵に種雄牛の精液を人工授精し、他の雌牛の子宮で子牛を生産する受精卵移植は、質の高い子牛生産の最先端を行くもので、町内での成功率は七〇％に達しています。

この技術が軌道に乗れば、一頭の雌牛が生産する子牛が増加し、低資質牛

に優秀な受精卵を移植し子牛の経済効果を高めるなど繁殖生産が計画的に行うことができます。

町では、卵を提供してほしい雌牛の選定や農家への援助、人工授精手数料や移植技術料の補助などを行っています。今後は、受精卵移植技術者等で構成する協議会を設置し、町内の採卵、受卵を推進、調整していく考えです。

ガット・ウルグアイ・ラウンド元年

町長 阿部幸悦 日記

町長 阿部幸悦

昨年は、一昨年の冷害から一変して大干ばつを心配されるほどの猛暑の夏でありましたが、結果的には、全国的な大豊作となりました。「あきたこまちと由利牛の里」を標榜するわが町にとっても、七年ぶりの豊作となり大変いい年でありました。しかし、その結果として今年は、また減反面積の増加をお願いしなければなりません。予想以上の余剰米がでたのであります。「猫の目行政」とよく言われることですが、それほど農業生産の予測は難しいということでもあります。

しかも今年からは食糧法から新食糧法へと法律が変わり、これまでの「作ったものは価格を保証しながら国が全量買い上げる」ということから、「値段は基本的には市場原理によって決まる」ということになります。そのためにも作る側で生産量をしっかりと管理していくという姿勢をとらないと、米の適正な値段が維持できなくなる心配がでてきます。生産量の調整が、これまで以上に大事な事になってまいります。

また、今年はいよいよ「ガット元年」に入ります。三十八万トンもの外国の米が入って来ます。外米そのものは、一昨年の冷害時に、私たちは経験済みであり、品質については今のところさう心配するものではありませんでした。

しかし、この安い値段の米が、毎年輸入を義務づけられた事から大変な心配をしていかなければなりません。

政府もこの六年間で六兆百億円という大変な額の予算をだしてこの事態に対処し、新しい日本の農業・農村を作り上げようとしております。秋田県でも農業農村対策大綱を策定して新しい農業農村対策にとりかかります。

「あきたこまちと由利牛の里」を標榜するわが町も頑張らなければなりません。町農業振興対策会議などできつかり議論をし、現場であるJA東由利とスクラムを組み、新しい東由利農業を作り上げて行かなければなりません。本町の農業を確固たるものにするため、お互い頑張り合ひましょう。

はいっ!!
役場です

国保の保険証が四月一日から新しくなります。
三月中に新しい保険証が配布されます。

医療受給者証	
市町村番号	27050855
受給者番号	秋田県由利郡東由利町
居住地	
氏名	
生年月日	平成 年 月 日
性別	男・女
有効期間	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで
発行機関名	秋田県由利郡東由利町
及び印	東由利町長
交付年月日	平成 年 月 日

お知らせ
★ 老人保健 ★
だより

外来診療が1,010円に

七十歳以上（身体障害者手帳一〜三級の人は六十五歳以上）の人に適用される老人保健法の医療制度が改正になり、四月一日から通院などの一部負担金が一か月当たり千十円（改正前は千円）になります。なお、入院治療の一日当たり一部負担金は、七百円のままです。

七十歳以上になったら役場の窓口で「医療受給者証」の交付を受け、通院の際は、この受給者証、健康手帳、医療保険の被保険者証（俗に言う保険証）を持参し、診療を受けることになります。

国民年金の保険料を納付しなくても届け出るだけで納付期間として年金額に算入されます。これが、第三号被保険者と呼ばれる方々。これまで届け出をした時の二年前までしかのぼって保険料納付期間とされていたものが、今回の法律改正で、それ以前の分まで適用されることとなりました。ただし、平成七年四月一日から平成九年三月三十一日まで届け出た人に限られます。

届け出るだけで年金がもらえる 国民年金3号被保険者に呼びかけ

第三号被保険者とは、厚生年金の被保険者や共済組合の組合員（第二号被保険者）から扶養されている配偶者で二十歳以上六十歳未満の方のことです。届け出をしたときから第三号被保険者として認められます。町では、「第三号被保険者は届け出るだけで年金がもらえる。今回の特例措置に該当するかどうか今一度確認してほしい」と呼びかけています。

1歳6か月児健診より

◀小松正也くん
(新町・正義さん長男)



◀小野咲奈ちゃん
(新町・孝悦さん二女)



◀小野涼太くん
(須郷田・久一さん長男)



◀伊東 翼ちゃん
(蔵新田・勝宏さん長女)



◀遠藤朱莉ちゃん
(五海保・優さん長女)



◀渡辺知恵里ちゃん
(館合新田・要さん二女)



◀長谷山瑛子ちゃん
(湯出野・和幸さん長女)



◀佐藤淳也くん
(蔵・和広さん長男)



虫歯なんてないもん。

3歳児健診より

◀小野美咲ちゃん
(新町・孝悦さん長女)



◀高橋絵里ちゃん
(館合新田・満さん二女)



◀森川美由紀ちゃん
(横小路・由高さん長女)



◀高橋夕希ちゃん
(館合新田・和夫さん三女)



◀莊野千秋ちゃん
(松柴・和浩さん二女)



◀長谷山裕子ちゃん
(田代・博昭さん長女)



県知事・県議選挙 投票日は4月9日

任期満了による秋田県知事、秋田県議会議員選挙は、知事が三月二十三日、県議会議員が三十一日に告示、四月九日に投票が行われることになりました。

五時まで、その他の投票所は午前七時から午後六時まで投票を行うことができます。開票は、午後七時から有鄰館で行われます。

当日は町内に十三の投票所が設置（別表のとおり）され、第三、五、七、八、十一、十三投票所は午前七時から午後

町選挙管理委員会では「今後の地方自治のあり方を方向づけるとても大切な選挙。棄権しないで投票してほしい」と呼びかけています。

●町内の投票所一覧

投票区	投票所
第1（黒淵地区）	八塩館
第2（田代地区）	住吉会館
第3（袖山地区）	袖山館
第4（館合地区）	八塩小学校体操場
第5（松柴地区）	松柴地区集会所
第6（老方地区）	老方館
第7（祝沢地区）	祝沢地区集会所
第8（高村地区）	高村地区集会所
第9（法内地区）	克雪管理センター
第10（蔵地区）	大蔵館
第11（黒沢・大台）	黒沢地区集会所
第12（宿地区）	大琴小学校体操場
第13（杉森・沼）	杉森地区集会所

今年の1年生は48人

今年四月に小学校に入学する児童は、男21人、女27人です。“春を待つ48人”を紹介します。

（敬称略）

八塩小・19人（男8人、女11人）

自治会	児童氏名	保護者
黒淵	佐藤 舞	範男
〃	八嶋 利之	俊司
時雨山	小野 桃枝	悟
〃	佐藤 輝	宏
〃	佐藤 豪	孝雄
〃	佐藤 忍	芳雄
田代	渡辺 稔秋	忠悟
石高	畠山 淳	昇
〃	村上 竜	忠悦
家ノ下	小番 達裕	正裕
下小路	遠藤 達也	覚
〃	畑山 未希	豊隆
宇戸坂	佐藤 泉	力弥
山崎	小松 智美	忠孝
松柴	佐藤 望	茂一
〃	莊野 麻衣子	和浩
新沢	仙道 恵美	孝一
館合新田	畑山 茜	吉基
須郷田	小松 里衣	慶悦

高瀬小・20人（男9人、女11人）

自治会	児童氏名	保護者
新町	小野 真太郎	浩市
〃	工藤 慎悟	正栄
〃	工藤 由梨	正栄一
〃	佐々木 ゆかり	正吉
〃	佐藤 秀幸	秀夫
横小路	赤川 雄祐	龍範
上通	谷口 真規	司
〃	畠山 絵里	昭一
湯出野	小松 秀毅	秀栄
寺田	佐藤 百恵	企志
茂沢	畠山 寛規	正志
祝沢	佐藤 アイ子	晃
横渡	遠藤 裕二	あい子
〃	木島 和也	久一
蔵	大庭 智美	清樹
蔵新田	伊東 幸恵	幸寛
島	小野 吹雪	常男
宮ノ前	大日向 裕樹	幸男
野田	遠藤 はるか	勝
小倉	阿部 愛美	文造

大琴小・9人（男4人、女5人）

自治会	児童氏名	保護者
大吹川	畠山 翔子	勉
袖山	畠山 亜由美	雄雄
大琴	小野 修宏	良雄
〃	佐々木 浩平	興
舟木	大庭 陽	正一
宿	遠藤 久美子	久
〃	小野 直人	清夫
大台	小松 明美	仁
杉森	高橋 司	栄記

♥愛の献血

四〇〇cc

石井 政志	遠藤 克幸
阿部 盛喜	小松 正二
鈴木 徳之	畠山 竜紀
早藤 素史	小玉 雅之
阿部 豪	遠藤 晃
石渡 博澄	高橋 孝紀
三浦 雅弘	小松 和弘
小松 健	小野 浩市
遠藤 哲也	佐々木国男
伊東 健市	柴田 和尋
鈴木 隆	
二〇〇cc	
高橋由喜江	高橋ゆき子
小松五緒子	阿部由起子
畑山千江子	畠山 伸
鈴木 紀貴	鈴木富士子
遠藤真理子	佐藤富美子

ありがとうございました
2月20日
（敬称略）

大庭 和子	大日向睦子
長谷山友子	小野 里子
高橋 雅之	佐藤 明
佐々木寿幸	佐藤 一裕
木島 弥生	小松由貴雄
横山 立治	鈴木 政也
小野 一成	佐藤 一祝
千葉久美子	遠藤 静
下田登和子	工藤 明美
遠藤 力	小野 一
小松 秀和	小野 吉則
阿部江美子	横山 牧子
小松 佳子	大庭満壽子
阿部真喜子	佐々木信幸
小野 長清	阿部恵美子
阿部 弘章	工藤 良
畑山美喜子	柏谷むつみ
長谷山節男	畑山 文子

阪神大震災に110万円

町社会福祉協議会が窓口となっている共同募金会が阪神大震災への義援金を町内に呼びかけたところ、百十万三千百円が集まり、被災地に届けられることになりました。

同協議会では一月二十日、「各世帯五百円以上を」と呼びかけたところ、各自治会から次々と義援金が届けられ、一月三十一日の締め切りまで、六十二自治会と三個人から義援金が届けられました。

この義援金は、中央共同募金会を経由して被災地に届けられることになっています。

大琴小 夢の贈り物

宿郵便局が卒業記念に

宿郵便局（佐藤重一局長）が、毎日新聞秋田版に掲載された大琴小六年生の「夢」を一冊の本にまとめ、子供たちなどにプレゼントしました。

この本は、表紙に大きく夢と書かれ、中には同小六年生二十人の将来の夢と似顔絵が原寸大コピーで掲載されています。また最後のページには、一月十七日に発生した阪神大震災の記事を掲載、「戦後最大の被害となった出来事が卒業の年に当たったことを生涯忘れないでほしい」とした配慮がされています。

宿郵便局では、「子供郵便局などで学校にはいつもお世話になっており、恩返しのもりで製作した。喜んでもらえてうれしい」と話しています。



東由利町立
大琴小学校6年生

▶宿郵便局から贈られた
「夢」の本

佐藤さんに年賀一等賞

本町で二人目



▲賞品を受け取る佐藤さん
(写真・左)

時雨山の佐藤幸悦さんが、お年玉付き年賀ハガキで一等に当選、長男の宏さんに老方郵便局長から液晶モニター付ビデオカメラが贈られました。本町では過去に一等当選者が一人おり、佐藤さんが二人目。お年玉付き年賀ハガキは、全国で三十七億六千万通が発売され、老方郵便局では今年、十一万六千三百六通を取り扱いました。一等は、百万通に二通が当たる仕組みになっており、佐藤さんの当選番号は012535。

当選した佐藤さんは「テレビ放送時に番号をメモして確認。いつもは当たっても四等だったので、まさか一等が当たるとは思わず、びっくり。差し出してくれた相手にもお礼した」と喜びを話しています。

なりよし 也祉くん(大琴小5年)に善行賞

国道の清掃が評価

大琴小五年生の大庭也祉君が、徳島市の財団法人碎琢育正会から「ゴミ拾い活動での模範的な行動」が評価され、善行賞を受賞しました。

同会では毎年、模範となる行いを続けている子供たちを表彰しているもので、今回は、全国で六十二人が善行賞に選ばれました。

大庭君は昨年十一月、友達四人と一緒に国道107号舟木地区の休憩所を清掃したものの翌日もゴミを発見。「ゴミを捨てるという事を考え直せば、より良い生活ができると思う」と作文に書き、ゴミを捨てないように呼びかけたものです。受賞した大庭君は「清掃した翌日のゴミにはがっかりした。きれいな町にするためにゴミを捨てないでほしい」と話しています。



▶清掃を行った4人
(左端が也祉くん)

同賞の表彰式は、五月五日に徳島市で行われます。



▲町建設技能組合がボランティアで学校の修理などを行った(2月4日)



▲大琴小では満10歳を祝う1/2成人式が行われた(2月21日)

▶下郷分校の生徒たちがボランティアで雪よせ(2月22日)



ポパイ^スボール^{クラブ}が制覇

’95バレーボールリーグ

’95バレーボールリーグ決勝トーナメントが二月十二日、健康増進センターで行われ、ポパイ^スボール^{クラブ}が優勝を飾りました。

同大会は、一月九日から健康増進センターで七チームによるリーグ戦が行われ、当日の決勝トーナメントには上位四チームが進出、リーグ戦一位のポパイ^スボール^{クラブ}と同四位の東光苑が、同二位のじよやさ^ーずと同三位のウイングス^スが対決しました。

その結果、ポパイ^スボール^{クラブ}とウイングス^スが決勝に進出、決勝では一進一退の好ゲームが展開され、ポパイ^スボール^{クラブ}がウイングス^スを振り切り、四年ぶりに優勝したものです。



▲白熱した試合の連続

雪上で親子が触れ合う

八塩ウインターフェス



▲親子で楽しいひとときを過ごした

雪上でのゲームを通して親子の触れ合いを深めようと八塩小のウインターフェスティバルが一月二十八日、同小グラウンドで行われました。

この催しは、同小PTA（佐藤知泰会長）が中心となり昨年から行われているもので、今年は、児童とその父兄など約二百人が参加しました。

四人一組でソリをリレーするジャンボソリリレーや五分以内で像の高さを競う雪山づくりなど、雪を利用した六種目が行われました。子供をソリに乗せて、父兄が引っ張る学年対抗ジャンボソリリレーでは、子供を置き去りにしたままソリだけを引っ張るチームも見られ、会場内は終始歓声が響き渡っていました。

昔の遊びで交流

高齢者と子供の集い

昔の遊びをとってお年寄りと子供の交流を深めようと一月二十六日、高齢者と子供の集いが有鄰館で行われ、年代を越えて交流を深めました。

集いは、ことぶき大学の一年環として昭和五十五年から毎年行われているもので、町内の小学三年生五十五人と、大学生“百一人”が参加しました。今年は、県児童会館の“移動児童会館”も兼ねて行われ、けん玉、竹馬、おはじきなど十種類の遊び道具が準備されました。

会場内は、子供たちに遊び方を教えたり、昔を思い出しながら遊ぶお年寄りの姿が見られ、和やかな雰囲気につつまれていました。



▲世代を越えて交流を深める

高瀬小男子が総合優勝

郡市小学校スキー大会



▲大健闘のスキースポ少チーム

第十回本荘市由利郡小学校、中学校スキー大会が二月十四日、矢島町の鳥海高原矢島スキー場で行われ、高瀬小が男子総合優勝を飾りました。

同大会には、本町からスキースポーツ少年団員のうち、高瀬小十三人、八塩小二人、東中二人がそれぞれ参加しました。

小学校の部では四年生以上の児童を男女別、学年別に分け、一位から十位までのポイント制で競い合うもので、各学校の上位三人までがポイントの対象となります。昨年総合で準優勝だった高瀬小は、矢島、笹子などと共に優勝候補の一角に挙げられ、健闘が期待されていました。

当日は、全長九五〇メートル、標

高差三二〇メートル、最大斜度二五度のコースで争われ、高瀬小男子は、六年生で三人、五年生で一人、四年生で三人の七人が入賞を果たし、総合で二位の矢島小に八点差の四二点を獲得し、優勝したものです。入賞者は次のとおりです。

（敬称略）

《六年男子》①小松裕介③遠藤哲也⑨遠藤大輔《五年同》④阿部大真《四年同》②遠藤



▲6年男子優勝の小松裕介君 健光⑦工藤邦彦⑩遠藤優太（以上高瀬小）
《五年女子》③小松ゆかり（八塩小）④高橋奏子⑥小松

幸代⑩守屋桂子（以上高瀬小）
《中学校男子》⑤石綿民紀《同女子》⑦大庭恵美（以上東中）
健光君（高瀬）が優勝

千畑・大回転競技

第五回千畑ジャイアントスラローム大会が千畑スキー場で行われ、高瀬小の遠藤健光君が小学校一・四年生の部で優勝しました。そのほかの入賞者は次のとおりです。

（敬称略）

《小学校一・四年生》③長沼敬晴（高瀬）《中学校女子》

②大庭恵美

町の宝もの

34

「兵三新道碑」 奥ヶ沢

写真は奥ヶ沢大比戸橋の東橋畔にあつて「兵三新道碑」として知られていますが、正しくは「兵三・善助両翁紀功碑」で、昭和二年村民有志によつて功を記念し建立されたものです。

奥ヶ沢から山内を通つて鳥田目までは、山の尾根づたいの危険な細い道で、人馬の歩くのもやっとでした。

阿部兵三郎は一八二二年、杉森に生まれ、人々が往還に難渋するのを見かね、本荘藩



主の許しのもと、鳥田目の小松善助の助力や多くの方の援助のもと、私財を投げうって工事を始めて八年後の明治元年（一八六八）に、物言・大比戸の両橋をかけ、安心して通れる道を完成したのでした。

（文・畑山昭二）

※前号の十二ノ前の清水にある杉は百年ではなく、数百年の誤りでした。お詫びして訂正します。

広報クイズ 12

次の☆印に必要な数字を入れて応募してください。

- ①知事、県議選挙の投票日は4月☆日
 - ②今年1月に生まれた子は☆人
 - ③第一回和牛生産集団組織コンクール全国大会に本町から☆☆人が出席。
- ※官製はがきに答え、応募者の住所・氏名・年齢・身近な話題など、なんでも結構ですので、書いてお出してください。

※あて先／東由利町老方 東由利町役場広報係あて

※締切／3月15日（当日消印有効）

※全問正解者の中から抽選で5人の方に素敵な記念品をプレゼント。

※先月は11人の方から応募がありました。抽選で次の5人の方に写真盾をプレゼントします。▽畠山広正さん（大吹川）▽長谷山洋子さん（上通）▽阿部孝和さん（蔵）▽石綿伸太郎さん（大倉）▽伊東キヨエさん（蔵）。応募ありがとうございます。

歯磨きは

自分のために！

東中の水飲み場には、歯磨きの大切さを訴えたものや、歯の大切さ・歯と健康との関連を書いたものなど、歯に関するさまざまな標語が貼られています。しかし、給食後歯磨きをしている生徒は、わずかでも決まった女子生徒のようです。

赴任して一年近くになりますが、歯を磨く生徒は減っていても増えているようにには思われません。各小学校では給食後の歯磨きが一斉に実施され、習慣化が図られてきているのにもかかわらず、中学校に入った途端、継続されなくなり残念に思っているのは私だけではないと思います。

本校生徒の歯の状態をみるとむし歯の治療は終わっているものの歯周疾患を持つている生徒が目につきます。歯磨きで改善される疾患が大部分ですので、機会あるごとに歯を磨くことの大切さ、必要性をしっかりと認識させ、「自分の歯は自分で守れる」生徒を増やしていきたいと思っています。

本校では歯磨きをする場所が各学年一か所と少ないのですが、今後歯を磨く生徒が増え、「歯磨きの場所がほしい！」という声が生徒たちから聞こえてくる学校になって欲しいと思っています。

（東由利中・佐々木かつ子先生）

町スポーツ祭・蔵自治会が優勝

綱引き男子は新町Aが制覇



綱引き大会

スポーツ祭の最終種目で女子が優勝を飾り、総合優勝に花を添えました。

合併四十年、町制施行二十周年を記念して創設された「町スポーツ祭」は、二月十九日に健康増進センターで綱引き大会が行われた結果、蔵自治会が総合優勝を飾りました。

となった綱引き大会には、十四自治会が参加、男子、女子、小学生の部に分かれて競技が行われました。

「ステディ（用意）、プル（はじめ）」の掛け声がかかると綱がピンと張られ、周囲からは声援が飛び交うなど、会場内は熱気につつまれていました。

綱引きの成績は次のとおりです。

《男子の部》①新町A ②石高 ③舟木
《女子の部》①蔵スーパードライス
②石高女性 ③小倉

《小学生の部》①大琴 ②新町ストリートファイターズ ③蔵スーパードライス

3,500人でにぎわう

いきいき、クローズアップ

第十一回大平雪まつりが二月四、五日、新装なった大平スキー場で行われ、三千五百人の入場者でにぎわいました。四日は、たいまつ滑走、どんと焼きを皮切りに、花火大会、早食い大会が、翌五日は、スキー大会、雪上相撲大会、もちつき、雪玉合戦、雪上底抜け脱線

ゲームのイベントが行われました。また、両日ともスキー場のリフト、距離用スキーが無料で開放されたほか、JA東由利、商工会、青年会の出店、スキークラブのスキーチューンアップサービスが行われ、利用者から好評を得ていました。

リフト・距離用スキーを無料開放



▶スキークラブによるたいまつ滑走はすっきりおなじみ。幻想的な風景を楽しむことができます。

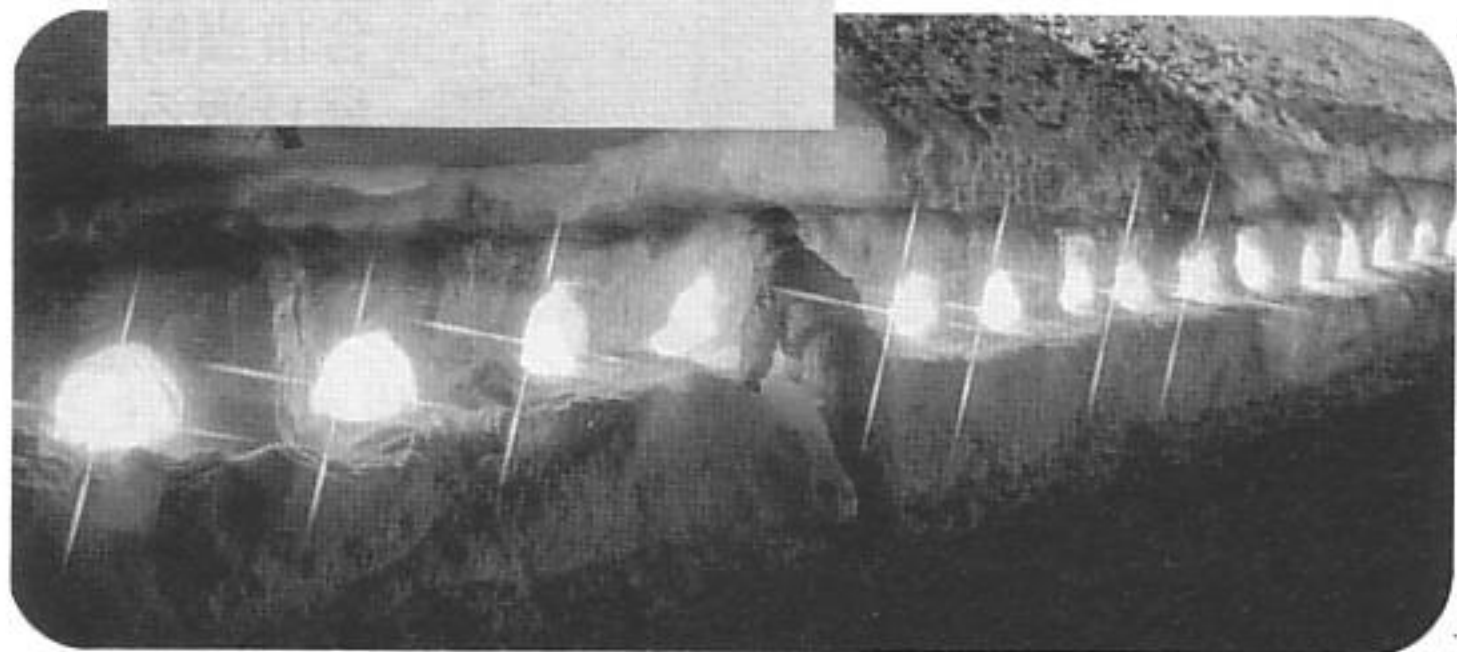


▲雪玉合戦に年齢は関係ない。素早い動きの小学生に大人も四苦八苦

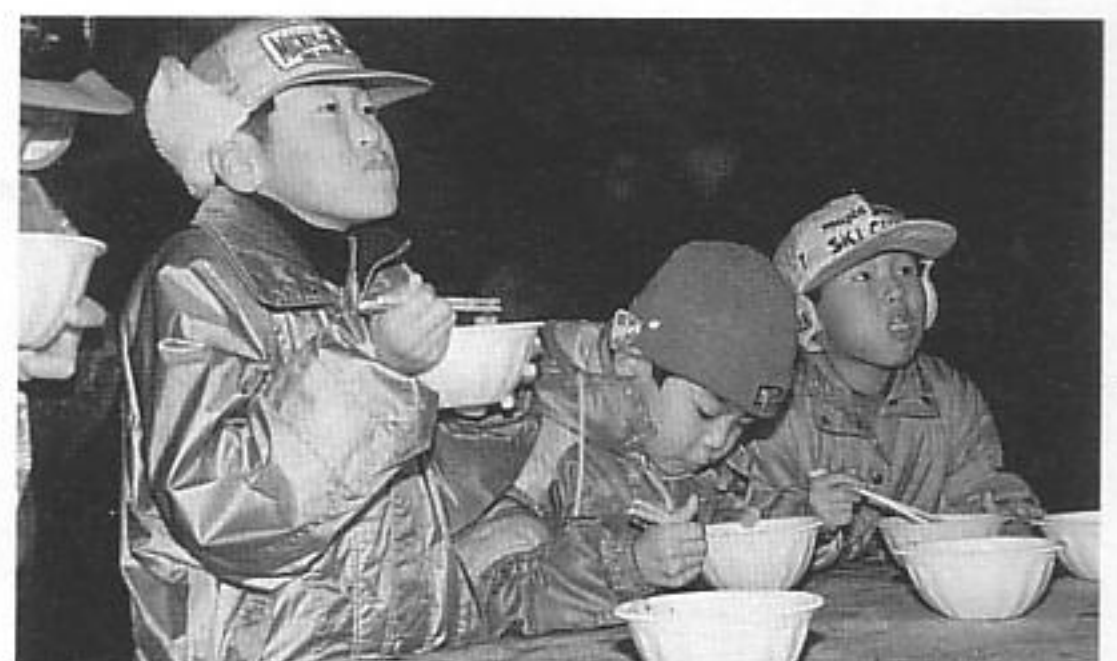
楽しいイベント
盛りだくさん



▶パラグライダーも登場



商工会青年部製作の雪燈
ろうでお出むかえ



▲牛モツ汁とカモスープうどんの早喰いにはたくさんのお子さんたちが参加



▲スキー大会はスピードが勝負

スキー大会優勝者

スキークラブ主催・敬称略

《小学校》

一、二年生男子 長沼 敬晴(高瀬二年)

同 女子 鈴木 翔子(大琴二年)

三年 男子 佐野 新(八塩)

同 女子 小松るみ子(高瀬)

四年 男子 佐藤 忍(高瀬)

同 女子 木島 留美(高瀬)

五年 男子 遠藤 洋(高瀬)

六年 男子 木島 明弘(大琴)

同 女子 遠藤 貴恵(高瀬)

《中学校》

男子 畑山 晃(東中二年)

女子 畑山あゆみ(東中二年)

《一般》 佐々木 進(矢島町)

男子 小松 由子(上通)

女子

新町・小野 睦美ちゃん

(H
5・2・4日生まれ)

敏さんと美江子さんの

一女



わが家の☆
アイトル☆

「トトロが大好きで毎日のように本を見ています。雪の多い日は、雪かきを手伝ったりしてくれます」とお母さんの美江子さん。

東由利——ニュースダイジェスト 23

合併当時を
振り返る

下郷 両農業共済組合が合併
玉米

4月1日に村1本で発足

昭和三十一年二月二十日、下郷、玉来両農業共済組合合併の総代会が行われ、合併契約書の承認、合併の承認、設立委員の選任などが承認され、事実上四月一日の合併が決まりました。

合が合併、昭和三十八年には、
発足当時の三十組合が十一組合
となりました。

さらに、四十六年三月には本
荘由利管内一本化に向けた合併
準備協議会が発足され、翌四十
七年三月には、県内最初の広域
合併組合として、由利農業共済
組合が誕生し、現在に至ってい
ます。

農業共済組合は、二十二年の農業災害補償法施行により設立され、「町村合併促進法」の施行で町村が相次いで合併したこの年は、本荘市、由利郡内で二十一組

設立委員会て新機構審議

下轄、玉野両農会連合組合の合併については、六月二十一日開組合の臨時会で、七月二十日開組合の総代会で合符契約書の承認、合併の審議、設立委員の選出等について協議されました。同組合とも合併契約事項、特に財産問題と合併に必要要件は趣意を一致して進行したものと見做すべきであるとの考えました。

したが、ついに承認され、設立委員会次、高橋正助、阿部武一郎、小笠原氏の三氏に古閑豊彦、小野重一郎、菅原一、西澤孝吉、佐々木一郎の七氏、が設立委員に選任されました。

理事に小野重一郎、遠藤武郎、昌山眞一郎の三氏が選任されました。その他に監事會、監事小笠原四郎、副組合長に組合員代表事務に小野氏と決定しました。

なお新組会は、行政庁の認可を得て四月一日より発足する予定です。

併役の共済会
事業対象物件の
概算を、事業計
画書により出す

役員員数
一、一四三名
六九四町七郡
八〇〇元
一、〇〇〇圓
二、〇〇〇圓

昭和十一年三月廿三日

東由利の文芸

せせらぎ句会（二月句会）

雪割れの崖日日広く鶏あそぶ
古鍋に母の面影福寿草
児のねだりとほけ上手に春炬燵
縁側に春を招ける小鉢かな
総入歯嚙みしめて出る寒の明け
節分の部屋みな灯し福をよび
杉の枝一つゆらして寒鴉
旅はるかガイドの旗は春招く
鴨鍋のにおい笑顔の輪を広げ

工藤	武雄	(山崎)
佐藤	正義	(湯出野)
小野	石路子	(上里)
菊地	常作	(湯出野)
小松	徳藏	(湯出野)
小野	貞子	(藏新田)
嵯峨	義之	(中通)
遠藤	トミ子	(小倉)
小松	忠正	(下通)

「Aコープの店舗内でお客さんと話をしながら楽しく仕事している」と話す彼は、J A東由利生活課勤務一年目のフレッシュマン。由利工業高校卒業と同時に「自宅から通える職場」を選

びました。

ふれあい食材宅配サービスの集計、精算などを主に担当しており、店舗と倉庫が彼の仕事場となっています。「金銭面の仕事が多いことから結構気を使う。今年は責任をもった仕事ができるように頑張る」と意欲満々の



遠藤 良信さん（19歳）
新処・JA東由利勤務

良信さん。

休日、ドライブをしたりパ
チンコに行ったり、自動車を利
用した自由な生活を楽しんでい
ます。

次は、高村の工藤健くんにリレーします。

宿題の子が春灯にすがりおり
店先で変る献立蜆買う
初午や種物店の並びおり
湯たんぽについて寝に来る童かな
みちのくに西郷さんの手毬唄
息止めて孫のフィナーレ春の音
岩手路を北へ日を追う木の芽時
かまくらを仕上げ子を待つ祖父の顔
雑っぱ汁あたためなおす多喜二の忌
木の芽時親もとはなる希望の目
少年の視線遠くに木の芽時
古格子音のきしみや春近し

阿部 澄子 (藏)
高橋 ヒデ子 (横 渡)
小松 慶治郎 (高戸屋)
阿部 澄子 (横 渡)
小松 正昭 (家ノ下)
阿部 ナミ (藏)
小松 順之助 (中 通)
小笠原 トミ (藏新田)
小松 女沙 (下小路)
嶽石 レイ (五海保)
大庭 喜右エ門 (舟木)
小笠原 亮子 (藏新田)

永慶保育園



さとうももえ
ちゃん(寺田)



えんどうゆうじ
くん(横渡)



くみこちゃん
(新町)



ささきゆかり
ちゃん(新町)



くどうゆり
ちゃん(新町)



おおばよう
ちゃん(舟木)

ともだちのかお

アレン先生の英会話教室

国際英会話クラス

Vol.12 Television (テレビ)



Mike : Do people in Japan watch a lot of television?
(日本人はテレビをよく見ますか)

Yasuhiro : Yes, they watch an average of almost 30 hours a week.
(はい。だいたい1週間で30時間も見ていますよ)

Mike : That's about the same as in America.
(アメリカと同じくらいですね)

Yasuhiro : Americans and Japanese watch more T.V. than anywhere else in the world.
(テレビを見るのはアメリカ人と日本人が世界一のようですね)

Mike : What a waste!
(無駄ですね!)

Yasuhiro : Just think if people spent that much time exercising or reading.
(その時間を運動や読書に利用したらいいのにね)

ハイスクール日記

卒業にあたって



下郷分校3年
工藤美和子さん

三年前にこの学校に入学して、中学の頃とほとんど変わらない、顔馴染みでスタートした高校生活にも、通い慣れた校舎にも別れを告げる時が来ました。

この三年間で得たものはいろいろありましたが、やはり一番は親友の存在でした。いろいろなことを相談したり、されたり、時には他人のことなのに、自分のことのように心配してくれた。でも、このクラスメートとも、今年の四月には離れ離れになってしまいます。まだ実感はありませんが寂しさを感じると

思います。

けれども、私たちがこの春、足を踏み入れる場所は、自分のためではなく、社会のために貢献するという大きな役目をもった所です。自分の意志で決めたそれぞれの進路です。この三年間で学んだことや経験したこと、思い出し、どんなことでも自分の力で最後までやり遂げられるような社会人になっていきたいと思っています。

最後に、私たちをここまで成長させてくれた皆様、先生方には本当に感謝いたしております。本当にありがとうございました。



アカネ

(アカネ科)

文・写真 小松忠正

路傍、山野に自生する蔓性の多年草で、他の植物にからみついて伸びます。根は太く黄赤色ですが、この根を乾燥させると暗赤色になり茜染めに用います。茎は方形下向きにトゲがあります。葉は四枚輪生し(二枚正葉、二枚托葉)心臓形か長卵形で、八〜九月枝先や葉腋に穂状の淡黄緑色の小花を開きます。花は五裂し、雄しべ五本雌しべ一本で花後丸い黒色の果実をつけます。根は染料として用いるほか、利尿剤として、また止血剤としても煎服されます。

東由利

郷土の野草

No. 121

3月→データ東由利

(1/1~1/31)

人口 () は前月比

■男	2,691人 (4)
■女	2,837人 (△3)
■計	5,528人 (1)
■世帯数	1,419戸 (1)

() は1月からの累計

・出生	2人(2)	・死亡	6人(6)
・転入	7人(7)	・転出	2人(2)

■火災出動	0件(0)
■救急出動	9件(9)
■交通事故	0件(0)
・死亡	0人(0)
・傷者	0人(0)
■飲酒運転	0人(0)
■酒気帯び	0人(0)

カレンダー 3月の行事

- 3 畜産講演会 (9:30 有鄰館)
- 5 第2回スノーボード大会 (大平スキー場)
- 9 3月定例議会
- 10 野菜生産者振興大会 (12:30 有鄰館)
- 13 東由利中卒業式
- 14 水田営農活性化共同班長会議 (14:00 朋楽荘)
- 16 八塩小卒業式
- 17 高瀬小、大琴小卒業式
- 19 全町バスケットボール大会
- 19 稲作講習会 (13:30 有鄰館)

3月14日に、NHKで大琴小1年生が紹介されます。時間帯は、次のとおり。ぜひご覧ください。

- ・午前11時28分すぎ「元気かな」
- ・午前11時52分すぎ「いただきます」

戸籍の窓口

●お誕生おめでとう

(1/21~2/20届出)

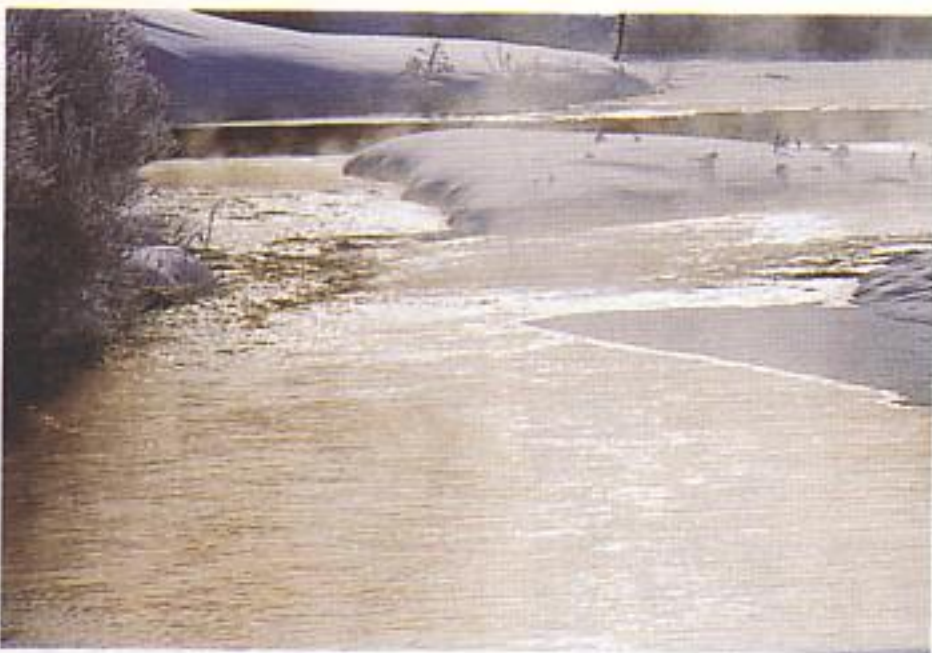
2/4 佐藤 晴樹ちゃん (宮子) 長男 津沢
2/6 鈴木 将太ちゃん (郁子) 長男 袖山

●ごめい福をお祈りいたします

1/12 長沼 莊一さん (72・ナミ子・夫 新町)
1/20 小松 文一さん (61・米子・夫 家ノ下)
2/6 阿部 並蔵さん (80・アサヨ・夫 宇戸坂)
2/8 佐々木ノエさん (97・誠・祖母 大琴)
2/15 佐藤 眞一さん (77・ヒテ・夫 宇戸坂)
2/18 小野 貞賢さん (83・貞一・父 蔵)

私の好きな風景

川霧



寒くて、天気の良い日に島の橋から撮影。キラキラ光る川がとてもきれいでした。

(撮影・蔵新田)

阿部 重雄さん

まごころ

町社会福祉協議会に、雄物川の琴喜志会(小野マツ子代表)からご芳志が届けられました。

広報送付の謝礼として、嶽石春雄さん(相模原市在住、田代出身)、小野悉朗さん(同市在住、宿出身)、遠藤政勝さん(静岡県在住、岩館出身)から金一封が届けられました。ありがとうございました。

ほっとひととき



今年も早いもので、もう三月。カレンダーの写真も春らしくなってきました。

カレンダーといえば、日めくりもの、一か月ごとのもの、一枚で十二月がわかるものなどさまざま。わが家では、今年から私が日めくりカレンダーを担当しています。朝起きて顔を洗ったらピリッと一枚。楽しみの一つがその中の格言を読むこと。「最悪だと言っているうちは最悪ではない」、「真実に多くの言葉はいらない」など、なるほどと感動する毎日が続いています。ちなみに三月一日の格言は、「一年に一度は必ず健康診断を」でした。